

■平成26年8月1日（金）建設委員会県内調査

1 （仮称）大和郡山ジャンクション

【調査目的】広域幹線道路ネットワークの形成について

【概要】

① 目的

大和郡山ジャンクション事業は、西名阪自動車道と京奈和自動車道を連結させることにより、広域幹線道路ネットワークを形成し、周辺の交通混雑を解消するとともに都市間交通の円滑化を図る。

② 経緯

平成 8年11月 都市計画決定(大和郡山JCT部)

平成11年12月 施工命令

平成14年 5月 地元設計協議、用地買収開始

平成20年 6月 工事着手

③ 工事の概要

i 進め方

西日本高速道路(株)と国土交通省が協定(事業費、施工区域等)を締結し、それに基づいて協働で進めている。

ii 集散路形式の採用

郡山ICが直近にあることで、交通運用上「集散路」形式を採用。

大阪方面から郡山ICで流出する車は、京奈和自動車道から天理方向に流入する車とICを出る車とクロスが生じる。

そこで、郡山ICを流出する車を佐保川の手前で流出させて、ロングランプを通過して今のランプに結びつけて、このロングランプは他のランプと独立しており、ここを通ると本線に戻れない構造になっている。

また、大阪方面も同様で、一旦、集散路(ロングランプ)を通過して、佐保川の先で初めて本線に流入することになる。

iii 発掘調査

埋蔵文化財が非常に多い。工事箇所と文化財調査箇所との調整を行いながら工事を進めてきた。ジャンクション中央付近に「下ツ道」があり、当初、この部分は盛土で計画していたが、遺構保存ということで、橋りょうに変更している。

iv 一級河川佐保川の河川改修(佐保川橋の架け替え)

大和郡山ジャンクション事業に合わせ、佐保川の河川改修事業を行っている。河川幅が広がることから、佐保川橋(本線橋)の架け替えを行っている。

v 維持管理用車両のUターン道の整備

下ツ道の東側に維持管理用車両がUターンして戻れるように整備している。

④ 進捗状況

i 進捗率:87%(平成26年7月末日現在)

ii 工事状況

盛土工事はほとんど終了している(一部舗装工事に入っている)ので、舗装工事、遮音壁工事、標

識工事等に順次入り、舗装そのものにかかるのは早くも8月末予定。26年度末の開通を目指している。



2 国道168号拡幅工事と一級河川高田川改修工事

【調査目的】国道168号（王寺道路、香芝王寺道路）の渋滞緩和及び一級河川高田川の治水対策について

【概要】

① 国道168号拡幅工事の概要

ア 王寺道路

i 工事の目的

一般国道168号（王寺道路）は、奈良県北西部の地域間交流を支援する南北の幹線道路であることから、4車線化による渋滞緩和、交通安全確保及び地域の活性化を図る。

ii 事業概要

事業名	一般国道168号 王寺道路
事業区間	北葛城郡王寺町畠田4丁目～王寺町本町1丁目
延長等	L=1.5km W=25.0m（4車線）
事業化年度	平成13年度
全体事業費	約119億円（進捗率：約86%）

iii 課題

- ・事業区間全てが「奈良県みんなでつくる渋滞解消プラン」の中で、「地域の主要渋滞箇所」として位置づけられている。
- ・現道は幅員狭小（幅員6m程度）のため、大型車のすれ違いが困難。
- ・現道は通学路に指定されているが、歩道が未整備のため安心・安全な通行を阻害。

iv 工事の状況

- ・現在、王寺町本町から県道桜井田原本王寺線までの区間約900mはほぼ4車線として供用済みで、畠田4丁目の交差点から北へ約620mの区間の工事を進めている

(工期：平成27年3月末予定)。

イ 香芝王寺道路

i 工事の目的

一般国道168号(香芝王寺道路)は、奈良県北西部の地域間交流を支援する南北の幹線道路であることから、4車線化による渋滞緩和、交通安全確保及び地域の活性化を図る。

ii 事業概要

事業名	一般国道168号 香芝王寺道路
事業区間	香芝市北今市～北葛城郡王寺町畠田4丁目
延長等	L=3.2km W=25.0m(4車線)
事業化年度	平成18年度
全体事業費	約115億円(進捗率：約34%)

iii 課題

- ・事業区間全てが「奈良県みんなでつくる渋滞解消プラン」の中で、「地域の主要渋滞箇所」として位置づけられている。
- ・現道は幅員狭小(幅員6m程度)のため、大型車のすれ違いが困難。
- ・中和幹線から西名阪自動車道へのアクセス道路としての早期整備が必要。

iv 工事の状況

- ・JR志都美駅から北へ約260mの区間を、平成27年3月末を目標に工事を進めている。
- ・香芝王寺道路は、延長3.2kmあるため、3つの区間に分けて実施(南から「1工区」「2工区」「3工区」)。

	延長	用地の状況	課題等
1工区	km 0.9	% 約33	旭ヶ丘ニュータウンが近隣にあるため、沿道に店舗が多い。用地についても、土地所有者、建物、テナント借り主と3者契約を同時にしなければならず、用地の確保が短期間にできない状況。
2工区	0.7	約95	西名阪自動車道を挟んで約700mの区間
3工区	1.6	約1	168号は、王寺道路、香芝王寺道路を含め延長4.7kmと長いため、まず重点的に南側と北側を整備していくという方針で進めているため、この区間は用地が手つかずの状態となっている。

② 一級河川高田川改修工事の概要

i 工事の目的

今後10年に1度の確率で発生する降雨の洪水を安全に流下させ、内水被害を軽減するため、高田川の河川断面を大きくし、河床を切り下げ(約2.5m低下)る。

ii 事業概要

事業名	一級河川高田川
事業区間	北葛城郡広陵町安部地内～大和高田市築山地内
延長等	L=約700m 流量：135m ³ /s（築山都市下水路合流部）
事業期間	平成16年度～平成28年度

iii 工事の状況

高田川改修工事は、中和幹線と交差する部分にある「新そらつ橋」から上流にかけての700mの区間（広陵町と大和高田市に跨がる区間）を整備している。

この700mの区間は下流から上流に向かって整備を進めているが、上流部分は今工事中、下流部分は既に工事は終わっている。

【上流部分の工事計画】

	工事延長	工事内容		
25年度	60m	護岸工一式	25・26年度	仮歩道 橋橋梁上部工一式
26・27年度	40m	護岸工一式		
27・28年度	30m	護岸工一式		

④ 対策の効果

排水不良であった築山都市下水路合流点の河床掘削完了（平成22年）後は、当該箇所での内水被害は発生していない。

【高田川の水位上昇に伴う排水不良により浸水被害の状況】

	被害状況(家屋)		累計雨量（高田観測所）	
	床上	床下		
H7. 7. 4	40戸	130戸	86mm	4日15時～ 5日 7時
H9. 7. 3	40	100	150	3日12時～ 4日11時
H19. 7.17	32	142	117	16日16時～ 17日 3時
H21. 8.11	—	10	89	10日12時～ 11日11時
H24. 7. 7	—	—	85	6日16時～ 7日 7時
H25. 9.15	—	—	158	15日10時～ 16日 9時

